平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名　株式会社 プロシップ　　上場取引所　大
コード番号　3763　URL　http://www.proship.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 今泉　智
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 馬庭　興平　TEL 03-5805-6121

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,720	―	542	―	547	―	301	―
23年3月期第2四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注) 包括利益　24年3月期第2四半期　301百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　―百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	83.03	―
23年3月期第2四半期	―	―

(注)平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,626	4,466	77.9
23年3月期	―	―	―

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　4,385百万円　23年3月期　―百万円

(注)平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	60.00	60.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	―	1,090	―	1,120	―	630	―	173.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 有
新規 1社 （社名） 株式会社プロシップフロンティア 、 除外 ― 社 （社名）
(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（その他）に関する事項 （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（その他）に関する事項 （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	3,757,000 株	23年3月期	3,757,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	129,740 株	23年3月期	129,740 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	3,627,260 株	23年3月期2Q	3,627,281 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法）
当社は、平成23年11月21日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 10
受注及び販売の状況 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、業績及び財政状態の前年同四半期比較の記載は行っておりません。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による自粛ムードが和らぎ、徐々に景気の持ち直しが期待されるものの、一方で欧米市場における金融不安を反映した円高と株価の低迷が進行するなど、依然不透明な状況が続いております。

情報サービス業界においては、顧客企業のシステム投資に対する抑制傾向が継続しており、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況下で当社は、主力の固定資産システムにおいて既存ユーザーのバージョンアップ及びグループ会社への導入に伴う新規ユーザーの獲得等、積極的に営業活動を行ってまいりました。

上記の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は1,720百万円となりました。利益面においては、パッケージソリューション事業において、ライセンス売上の増加及び開発工程のテンプレート化等の効率化効果や、販売管理システムの品質向上等により原価率を抑えることが出来たこと等から、営業利益542百万円、経常利益547百万円、四半期純利益301百万円となりました。

なお、前年同四半期累計期間における単体業績は、売上高1,458百万円、営業利益378百万円、経常利益387百万円、四半期純利益216百万円でありました。

セグメントの業績は次の通りであります。

①パッケージソリューション事業

主力の固定資産システムにおいて、既存ユーザーのバージョンアップ及び新規ユーザーの獲得を行ってまいりました。この結果、売上高は1,543百万円、営業利益は506百万円となりました。

②その他事業

その他事業におきましては、新規の受託開発案件の獲得や運用管理案件の作業領域の拡大に取り組みました。この結果、売上高は176百万円、営業利益は36百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は5,116百万円となりました。その主な内訳は現金及び預金4,340百万円、売掛金658百万円であります。固定資産は510百万円となり、この結果、総資産は5,626百万円となりました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は959百万円となりました。その主な内訳は未払法人税等248百万円、その他463百万円であります。固定負債は201百万円となり、負債合計は1,160百万円となりました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は4,466百万円となり、自己資本比率は77.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,240百万円となりました。当第２四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益545百万円、前受金の増加118百万円、法人税等の支払276百万円等により、490百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出3,100百万円、定期預金の払戻による収入3,200百万円、無形固定資産の取得による支出76百万円、有形固定資産の取得による支出42百万円、本社移転に伴う敷金の差入による支出44百万円、敷金の回収による収入56百万円等により、３百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により217百万円の支出となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計期間において、平成23年５月２日に発表いたしました数値を変更いたしております。

詳細につきましては平成23年10月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

通期業績予想につきましては、制度改正や業務効率化への対応によるシステム再構築案件に加え、ユーザーのグループ会社への導入や固定資産システムのクラウドサービスにおける受注の拡大を見込んでおります。またパッケージソリューション事業における新製品・新サービス開発のために、研究開発費を予定通り増額すると共に、開発案件数の増加による外注費の増額を見込んでいること等から、平成23年５月２日の「連結決算の開始及び平成24年３月期の連結業績予想について」で公表いたしました通期の連結業績予想は変更いたしません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、平成23年５月２日付けにて開示いたしました「連結決算の開始及び平成24年３月期の連結業績予想について」に記載のとおり、株式会社プロシップフロンティアは平成23年４月１日付けで株式会社プロシップから事業譲渡を受け、重要性が増したことにより、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる影響はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,340,534
売掛金	658,413
仕掛品	22,365
原材料及び貯蔵品	1,324
その他	93,523
流動資産合計	5,116,161
固定資産	
有形固定資産	48,854
無形固定資産	
ソフトウエア	180,898
その他	2,614
無形固定資産合計	183,513
投資その他の資産	278,199
固定資産合計	510,567
資産合計	5,626,729
負債の部	
流動負債	
買掛金	89,026
未払法人税等	248,572
賞与引当金	124,104
役員賞与引当金	33,499
受注損失引当金	696
その他	463,139
流動負債合計	959,038
固定負債	
退職給付引当金	91,710
役員退職慰労引当金	109,600
固定負債合計	201,311
負債合計	1,160,349

(単位：千円)

	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
純資産の部	
株主資本	
資本金	431,125
資本剰余金	396,725
利益剰余金	3,681,124
自己株式	△120,681
株主資本合計	4,388,292
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△3,098
その他の包括利益累計額合計	△3,098
新株予約権	81,186
純資産合計	4,466,379
負債純資産合計	5,626,729

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	1,720,096
売上原価	717,134
売上総利益	1,002,961
販売費及び一般管理費	460,122
営業利益	542,839
営業外収益	
受取利息	3,411
雑収入	1,420
その他	110
営業外収益合計	4,943
営業外費用	
支払利息	69
営業外費用合計	69
経常利益	547,713
特別利益	
新株予約権戻入益	376
保険解約返戻金	2,712
特別利益合計	3,088
特別損失	
固定資産除売却損	5,397
特別損失合計	5,397
税金等調整前四半期純利益	545,404
法人税等	244,217
少数株主損益調整前四半期純利益	301,186
四半期純利益	301,186

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	301,186
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	26
その他の包括利益合計	26
四半期包括利益	301,212
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	301,212

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	545,404
減価償却費	61,293
賞与引当金の増減額（△は減少）	76,538
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	1,499
退職給付引当金の増減額（△は減少）	7,859
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△11,543
受取利息及び受取配当金	△3,521
固定資産除売却損益（△は益）	5,397
売上債権の増減額（△は増加）	△33,398
たな卸資産の増減額（△は増加）	17,879
仕入債務の増減額（△は減少）	△16,605
前受金の増減額（△は減少）	118,979
その他	△6,489
小計	763,291
利息及び配当金の受取額	3,629
利息の支払額	△69
法人税等の支払額	△276,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	490,819
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,100,465
定期預金の払戻による収入	3,200,454
有形固定資産の取得による支出	△42,129
無形固定資産の取得による支出	△76,466
敷金の差入による支出	△44,661
敷金の回収による収入	56,419
その他	2,915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△217,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,649
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	269,236
現金及び現金同等物の期首残高	970,864
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,240,100

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報

第１四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同累計期間との比較分析はおこなっておりません。

受注及び販売の状況

①受注実績

当第２四半期連結累計期間の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）			
	受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
パッケージ	1,211,171	－	699,241	－
保守	461,709	－	521,435	－
受託開発	77,266	－	26,690	－
運用管理等	124,749	－	1,471	－
合計	1,874,897	－	1,248,838	－

（注）１．金額は販売価額によっております。
２．上記の金額には消費税等は含まれておりません。
３．パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る受注も含んでおります。
４．運用管理等には商品受注を含んでおります。

②販売実績

当第２四半期連結累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	
	売上高（千円）	前年同期比（%）
パッケージ	1,148,087	－
保守	395,426	－
受託開発	52,151	－
運用管理等	124,429	－
合計	1,720,096	－

（注）１．上記の金額には消費税等は含まれておりません。
２．運用管理等には商品売上を含んでおります。